

# 平成 30 年度 宇美町総合戦略推進懇談会

## 次 第

日時：平成 31 年 3 月 22 日（金）10 時から  
会場：宇美町役場 1 階 第 1 応接室

- 1 開会
- 2 本部長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 宇美町の人口動態について
- 5 平成 28 年度評価（意見・提案）に対する町の取組状況等について
- 6 総合戦略の取組状況（平成 29 年度）に対する意見の聴取
- 7 第 2 期総合戦略について
- 8 その他
- 9 閉会

平成30年度 宇美町総合戦略推進懇談会  
委員からの意見

**人口動態について**

- 外国人の転入が増えていることについて。企業の人手不足により外国人（ベトナム人）の受け入れを考えている方が結構おられる。アパートを作ったりされているが、町として外国人の受け入れを積極的に考えられているのかどうか。事業所の方からすると受け入れの態勢が市町村にあれば非常にやりやすい。町としては人口を増やしたいのであれば将来的に何かあるのか。移住されてから何かあった場合の通訳や、病院受診時の心配などに対応できれば。（小野委員）

**基本目標1 宇美町に安定した雇用を創出する**

- 外からの企業誘致や域内のビジネス交流を積極的にされているのか。正直、町主導で何かされているというのをあまり聞いたことがない。福岡県は福岡市に起業の特区を作って支援している。そういうのは、今後でもよいがどうなっているのか。（小野委員）  
→ H29に宇美町企業立地及び住宅団地開発促進条例を制定して進めていることについて説明。積極的にアピールしていない。
- せっかく制度があるのであれば、アピールした方がよいのでは。福岡市はすごくやっている。宇美町は工業団地があつて、昼間の人口が多いと思うが、そのわりに飲食店がロードサイドしかなく、皆さんご苦労されていると思う。企業誘致しやすいイメージがつくと、それに伴って人口も増えていいと思う。企業の方とお話するとむしろ須恵の方がいいとか言われる。宇美町は、志免・須恵よりも土地の価格が高くないので企業誘致のポテンシャルがあると思う。（小野委員）
- 女性が働きやすい環境の整備について。評価Aのところ、「働き方改革で高齢者や女性の就業率が増えているのが良いと考えている。保育園や幼稚園などが増えているので期待している。」とあるが、子どもを預かっていただける場所が増えるのはいいことなのですが、女性の就労そのものを国が進めているんですが、虐待の数値がすごく増えていることについて（危惧している。）小児科の先生や北欧では、「日本はなぜ女性をそんなに働かせるんだ」という意見もあり、もっと子供のいる家庭を大事にする働き方を企業やいろんなところで考えないと虐待の数値が減少しない。子どもを持っている家庭にストレスがかかるので、虐待につながっている。女性がいい形で働けることが大切。保育園など預かっている場所の問題ではなくて、親御さんたちが、しっかり子どもと関われる時間をキープするとかいうところが大切。宇美町の教育を大事にするところや「まちづくりはひとづくり」を大事にすることが町の将来や国の将来にとっても大切だと思う。保育園などの預かってくれる施設を増やすということは目先のことで、女性がきつくなならない、子どもがきつくなならない、男性の方もすごく育児に参加していただいているので、職場でも子

供を持つ同僚を気遣えるようになることが大事になってきているのかと思います。(川上委員)

- ベビーシッターの派遣業について私どもの提供番組で紹介していたんですが、登録されているベビーシッターがたくさんおられて、企業からの要請で企業や家庭に派遣して、企業が保育施設を何から何まで整えなくてもいいということをされています。そうことで女性の方が働きやすい環境を整えるということがあります。中小企業の方は4月からの働き方改革ですでに準備とか始められているとおもいますが、今までのような長時間労働ができないが、人手はないということで困っていらっしゃる。こういうものがありますよ、というのを調べいただいて、情報提供などされていくのもよいと思います。他の地公体のことなども。(野方委員)
- 保育は質が大切になっている。信頼関係ができるベビーシッターや施設であるかどうか。女性が働いている数値だけで判断しないような中身、一人一人にしっかり関わられる保育の質が大切だと思います。(川上委員)

## 基本目標2 宇美町への新しい人の流れをつくる

- 只越のところの開発について。工場になるのか住宅になるのか。(安川委員)  
→最終的には県開発になるだろう。その段階で分かる。用途地域外なので、制限が難しい。また改めて回答を。
- 二日市古賀線の太宰府に近い方900mくらいの進捗について。(合屋委員)  
→だいぶ用地買収が進んでいる。県が粛々と進めている。町は接続する道路の方法について、残地の有効利用などを検討して、計画変更などを行っている。町としてはそれに拍車をかけて早くやってくれと言っていくことになる。
- 空き家の再利用、古民家の活用について。宇美八幡宮の前の住宅も駐車場になってしまって。萬代の社長が住んでいなくて空き家。文化財になるような建物と思うが、そのままだと解体になってしまう。竹亭もなくなってしまってさびしいと思っているところなので、どなたか交渉していただいて、そこで料理でも出されたらと思います。(南里委員)
- 便乗してですが、きき酒とか流行っているし、酒かすの料理も流行っているので、いいなど。(川上委員)
- 観光について、県外の人をつれてどこに行くかという、宇美八幡宮だと思います。東京の友人から本当にすごいねと言われました。太宰府のようなところもいいけれども、素朴な宇美八幡宮もすごくいいねと。自信をもって勧められる場所があるのはいいことだと思います。四王寺県民の森もそうですし、図書館もきれいで過ごしやすくして誰かと一緒にすごしたいと言われていました。宇美広報とかいろんなもので、住んでいる人が自信を持って案内できる感覚を持っていくといいのかなと思いました。  
あと、太宰府方面にバスの便が少ないというご意見を聞きます。(川上委員)
- JRから宇美駅で降りて、歩いて宇美八幡宮に行かなければいけない。営業所からきて

右に曲がるのはある。木村スタンドから左に曲がることはできないのか西鉄バスに聞いてもらいたい。久保田さんがぬいたら、まがって太宰府線に木村スタンドから左に曲がっていきますという約束なんですよ。それを実現してもらわないと。

J Rから太宰府方面に曲がるのがないというのは（問題）。木村スタンドかマルト醤油から曲がって接続しないと。太宰府からも反対に人をよべるようになる。（小林委員）

- 商工会からも萬代にイベントや出店のアプローチはしている。なかなか実現していないけれども。

商工会のよかもん会で昭和の森で出店の調査をしたが、商業ベースにはなかなかのらない。町からご依頼があれば、今後も検討したい。

宇美八幡宮の参拝客が戌の日や週末が多いので、伊之坂写真館の隣の空きスペースについて町に相談しているところ。出店者を募って、賑わいの創生をできないかと計画している。（合屋委員）

- 宇美公園、宇美八幡宮、井野山の軸があります。井野山にも今たくさん来られている状態で、4月29日の一本松公園の山開きをされているので、井野山でも山開きをしたらどうかとよく私も言われるんですけど、そういう形にぎわいづくりの計画の中で検討していただけたらと思います。（南里委員）

- 日本版DMOの設立等と書いたのが私ですが、DMOというのはまちづくり会社をつくりませんかという取組です。観光は行政がリーダーシップをとってもらいたいというのが住民の方の声とは思いますが、それを実行するためのまちづくり会社をつくって、やってらっしゃる市町村もあります。先ほどのバスの話ですが、西鉄が左に曲がっていけないとなるとそれをまちづくり会社がやる。いろんなアイデアあって、それを誰がやるのか、行政では難しいときにまちづくり会社ができることがある。実行していく組織を作ってもいいのかと思う。（小野委員）

- 情報発信がカギだと思う。福岡都市圏に来られた方がじゃあ宇美町に行ってみようかという流れをつくれるのかどうかはひとえに情報発信だと思います。ヤフーやYouTubeなどのインターネットでの情報発信を積極的にやられていたり、本店広場が福岡市中央区天神にあるのですが、こちらが公開空地になっており、福岡、北九州、佐賀、長崎、糟屋郡内の自治体さんがイベントをされていますが、多くの若い方から年配の方までの方に情報発信をされています。自治体さんだけではなく、商工会や観光協会、DMOが複雑に重なったところで、その地域に一人でも多くの方に足を運んでいただけるようにしていく。福岡都市圏で開催されるG20やワールドカップ、世界水泳など国内外から多くの方が来られます。そういう方は事前に福岡にきたらどこへ行こうか情報収集をされているので、そういう方々を目指したところで、国からの交付金を取得して事業をされているところもあります。

古民家についても。改修してちょっとした宿泊施設をつくるなどの取り組みもあります。今ある地域資源をつかって、あるものを知ってもらって、足を運んでもらう情報発信

が大切だと思います。それも紙などの形のある媒体だけではなくて、SNS、インスタなどの媒体も必須だと思います。(福岡銀行本部)

### **基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

### **基本目標4 時代に合った地域をつくり、暮らしの安全安心を守るとともに、地域と地域を連携する**

- 子育て支援の充実について。子育て支援センターや子どもを守る地域ネットワーク強化事業に関わっていて、家庭にもいったりしているんですけど、1家庭1家庭事情が違っている。以前の子育てと今の子育ての何が決定的に違うかという点で以前の子育てには周りに人がいたんですけど、今の子育ては孤立している。転居されてきている方は、周りに知っている人がいない、ご主人が仕事に行ってしまうと乳飲み子を抱えてどこにいったらいいのかわからない。ご近所も仕事に行かれたり、生活時間が違ってふれあいがいい。これは高齢者もそうだと思うけれどもコミュニティの再生が今後の課題だと思っています。

宇美町は、子育て支援センターが0～6歳、就学前までの親子が来れる場所なんですけど、児童館がないので、それに代わるものが必要。地域にある公園がもっと子どものあそび場として使いやすいとか、ここで遊べるよ(というのがあったらいい)。地域にある公園がコミュニティが作りやすくなるとか、自治公民館などでも、親子がいける時間があるとか地域の方とふれあえる時間があるとかあると児童館の代わりになったりするのかな、と。

虐待の防止に取り組む小児科の先生のお話を聞いたのですが、虐待を予防するには、子育てをするお母さんに一人でも良いから理解者が近くにいる必要があるとのこと。不登校や虐待の予防のためには、子育てしている人の周りに理解者を増やしていく、コミュニティをつくっていったらいいなど。

東京のヒカリエという商業ビルには、おもしろいベンチが置いてあって、他の商業ビルとは違って、居心地がいいなと思いました。座った人が自然と声を掛け合ったりできる場所になっていました。町ぐるみで、町の中に居心地の良い場所をつくって、周りに人がいる状況を作っていったらいいなと思いました。(川上委員)

- 学校の体力測定を毎年しているが、宇美町が低い。遊ぶところがない。子どもの年齢にあった遊び場が少ない。志免に比べて少ない。(安川委員)
- 遊具がなくても、芝生や水遊びなど想像力豊かに遊べます。  
周りの人から声をかけてもらえる環境があるといい。(川上委員)
- P12に書かせてもらっていますが、進学のために都心部に転出されるお客様が結構いらっしゃる。この辺りでは、近くにいい教育環境がないのでどうしても福岡の中心部に家を買ったり借りたりして移られる方が結構いらっしゃる時いている。ユニークで特色ある教育というざっくりとした書き方をさせていただいているのですが、この周辺環

境にもともとそのあたりがあるよということを、もしかしたらご存じないのかもしれませんが、このあたりでも教育をうけるのに全然問題ないですよとかそういう話の発信をぜひしていただきたいと思います。

SNS関係、全部に関係することですが、少し前にモニターの方を連れてきて、観光で回っていただいていいところをぜひ発信してくださいと、インフルエンサーとかいうんでしょうけど。委員の方というのは、どうしても内向きというか、実際にお住まいであって、できるできないももうわかってある所もあるので出てくるアイデアが限られるところがあると思います。そういう方々、外部意見を活用されてもいいのかなと思います。

私も半年前に来て、駅の周辺も昼間は朱塗りでもいいなーと思うのですが、夜になると真っ暗でさびしさを感じたりします。連携をして、できることから具体的に動き出されるといいと思います。(野方委員)

- できるのであれば、大学の誘致とか学生でにぎわうのでどうかなと思います。(合屋委員)
- 福岡市の事例で、行政がやると失敗している。SNSは若い人はいいけど中高年にはどうか。アンテナショップなど、発信の仕方を変えないといけない。地域の人など民間の人に考えてもらったらどうか。若い人やコンサルなど、みんなで考えた方がいい。(太田委員)
- 高校に行くのにJRを使ってとかそういう不便さはあるんですけど、不便さではない部分をみてもらうような施策を。学力向上で取り組んでありますが、学力はどうしても波があるので、学校の先生方はすごくがんばってあるので、それに一喜一憂しないで、希望を持っていくのがいいと思います。(川上委員)